

ショパン・フェスティバル2011 in 表参道

期間中ご来場のお客様に抽選で「ショパン・グッズ」をプレゼント!

※曲目が変更になる場合がございます。終演時間は予定です。

5月30日(月)

5月31日(火)

ピアノリサイタル

開場 18:30
開演 19:00
終演 21:00

入場料
¥3,000
友の会会員
¥1,000

※6/4(土)のみ
17:00開演

高橋多佳子

Takako Takahashi



©Akira Muto

レクチャー & コンサート

《ショパン with フレンズ》

～ロマン派を彩った4巨星～

ショパン：12の練習曲 op.25より
第1番 変イ長調「エオリアン・ハーブ」

メンデルスゾーン：無言歌集より「春の歌」
イ長調 op.62-6

シューマン：アラベスク ハ長調 op.18

リスト：パガニーニ大練習曲集より
「ラ・カンパネラ」

ショパン：ノクターン 変ホ長調 op.9-2

バラード 第3番 変イ長調 op.47

ポロネーズ 第6番 変イ長調 op.53

「英雄」

※質問コーナーもございます。

Profile

第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位入賞。第22回日本ショパン協会賞受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。以後、日本と全ヨーロッパで活動を行う。

国立ワルシャワ・フィルをはじめ、内外の主要オーケストラと数多く共演。既に17枚のCDをリリース、《ショパンの

旅路》、《ラフマニノフ：ピアノ・ソナタ第2番&ムソルグスキー：展覧会の絵》、《リサイタル「ショパン with フレンズ」～奇跡の年～》は、「レコード芸術誌特選盤」となる。2010年3月より《ショパン with フレンズ》～奇跡の年～シリーズ(全4回)を始動、ますます意欲的な活動で大きな注目を集めている。

揚原祥子

Sachiko Agehara



ショパンとリスト ～同時代に生きた
対照的な光を放つ二人の音楽家～

ショパン：バラード 第1番 ト短調 op.23

ノクターン 変二長調 op.27-2

舟歌 嬰へ長調 op.60

リスト：バラード 第2番 ロ短調

愛の夢 第3番 変イ長調

巡礼の年 第3年より

4. エステ荘の噴水

Profile

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学ピアノ科を首席で卒業、同大学院修士課程修了。安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学金を得て、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。

第58回日本音楽コンクール第1位、日本ショパン協会147回例会でデビュー。

各地でソロリサイタルを開催する

ほか、歌曲伴奏や室内楽の活動も数多い。第一生命ホールオープニング特別演奏会、キタラホール10周年記念コンサートなどに出演。

近年は東京都中央区の小中学校でのアウトリーチ活動や、R.シュトラウス「イノック・アーデン」などの朗読とピアノの作品にも取り組む。音楽之友社より3枚のCDをリリース。

現在、千葉大学教育学部准教授。

『ショパン・フェスティバル2011 in 表参道』開催にあたって

日本ショパン協会会長 小林 仁

2010年のショパン生誕200年を記念して行われた、2週間にわたるショパン・フェスティバルin表参道は大変好評をいただいて終了しました。その独特の視点からの催し物はこれだけで終わるのは惜しい、というお話を多くの方々から寄せられました。今年ハリストの生誕200周年にもあたり、昨年やはり生誕200周年を

むかえたシューマンを残してしまいました。

今年はその意味もあって日本ショパン協会では「ショパンとその周辺」というタイトルで1週間にわたるフェスティバルを行うことにいたしました。魅力的な実力派のピアニストがバラエティに富んだプログラムで出演いたします。どうぞご期待ください。